

# 賛成

限りある財源を重点的・効果的に配分した予算を評価、「区民のための政治」実現のため一層の努力を要望

公明党

平成25年度予算は、震災対策の充実や防災街づくりの推進、介護予防の強化など区民の安全安心の備えをしっかりと行うとともに、我が党が提出した、「あらかわ公明ビジョン100」と「予算に関する要望書」を踏まえ、限りある

実施や、地域包括支援センター増設などを高く評価する。子育て分野は、新たな放課後子どもプラン事業や保育定員の拡大と新たな家庭的保育事業などに期待する。障がい者分野は、特別支援学級の充実や親なき後支援の積極的な推進を高く評価する。教育分野は、児童生徒にタブレットパソコンを導入するなどICTの充実を期待する。産業経済分野は、起業・創業支援の充実や商店街活性化の取り組み、若年層の就労支援等を期待する。環境分野は、環境活動の活性化やエコ助成の充実により低

炭素型の地域づくりが進められるよう要望する。防災・住みよい街づくり分野は、永久水利の整備や福祉避難所の指定、備蓄資機材の充実など地域防災力の向上が図られている。最後に、予算特別委員会における我が党からの提案・要望については、今後の事務執行や予算編成に十分に反映させ、区民生活の一層の向上に努力していただくことを要望し、賛成討論とする。

各分野において着実な施策展開を図り、多くのニーズを吸い上げた予算案を評価する。予算執行では、日本創新党が問題提起した課題を正面から受け止めるよう強く

求め、以下の点を述べる。福祉分野は、健康増進に反することは、強い規制や負担が行われるべきで、生活保護受給には必要な規制を厳しく行うよう求め

る。環境清掃費は、雨水利用貯水槽設置を促進し、ごみの有料化を進めるべきである。土木費は、自転車専用レーンの体系的な整備を強く求める。教育費は、日本の素晴らしい縦糸を引き継ぎ、戦っても大事なものを守る観点を軸に据えて教えることを求める。議会費は、本会議質問時間の十分な確保などを求め、賛成討論とする。

# 反対

くらし・福祉・防災最優先の予算に優先順位を見直すべき

共産党

社会保障費の削減や消費税増税計画など負担増により区民生活は破壊されていく中で、地方自治体はくらしを守る防波堤の役割を果たすことが強く求められている。新年度予算案では、中小企業融資枠の拡大、地域包括支援セン

ターの増設、親なき後の支援事業を歓迎するが、区民生活を支える施策を優先した予算措置かどうかは問われている。第一に生活保護費の削減、国民健康保険料の値上げ、高い介護保険料や利用負担などに自治体として必要な支援を

行うことが求められる。第二に今年も認可保育園の不承諾者が出て、両親が常勤でも入園できない実態があり、認可保育園の増設を中心に待機児童解消の緊急対策を求める。第三に永久水利は都との役割分担やその、執行率の不十分である。必要の低い家具転倒防止補助事業の改善策もない。また、全小中学生にタブレットPCを貸与する事業は、十分な検討が必要であり、一体化が進められる学童クラブとにこそすくいるは、事業目的に沿ってそれぞれ運営されるべきである。さ

らに、毎年の予算削減によって老朽化した公共施設の改修が後回しにならぬよう、改修は必要に応じて一気に進めるべきである。最後に放置自転車対策は、区が所有する施設に駐輪場を確保しない姿勢や新三河島駅の不十分な放置自転車対策は問題である。我が区議団が提出した修正案は、区の財政力から言っても十分実施できるものと述べ、原案の反対討論とする。

一般会計予算に反対する。不燃化特区推進のため、町屋駅を中心とした街づくりのグラウンドデザインを作り、住民の合意形成を図れ。母子避難所設置を再三求

めているが、進んでいない。エレベーター閉じ込め対策も未定で、震災対策は後手に回っている。成田空港からの交通至便性を活用し、東南アジアの起業家を誘致

# 賛成

健全な経済指標の範囲内での財政運営を求め、積極的な施策展開を望む

民主・市民

来年度予算案は東日本大震災を踏まえ、隅田川からの永久水利、木密対策など防災に関する施策が盛り込まれた。災害に対しては、自分の命は自分で守る意識を醸成する施策を積極的に進めてほしい。まず、各施策の実施には健全な

財政運営が求められる。健全な経済指標の範囲内での積極的な施策展開を望む。子育て・教育分野は、私立幼稚園の誘致や保育園の増設、保育園での幼稚園と同様の健康診断の実施や学校給食のアレルギー対策を求める。福祉分野は、高齢

者の介護予防施策の強化を評価する。区全体の体制等では、各種審議会の女性比率の低さに対する努力を求め、行政評価は施策の展開や対策本部の実態等、常に事業・組織再構築を行うよう求める。環境清掃分野は、PPS拡大などエネルギー問題への積極的な対応と清掃工場での安全確保を求める。街づくり分野は、耐震性に関する建築物への対応等を求める。

このほか、本会議や予算委員会が質疑した点を受け止めていたことを求め、賛成討論とする。

隅田川の水を使う防災対策は委員会に何の報告もなく、唐突に予算発表された。区が単独で費用負担すべき事業か検討もなく反対だ。タブレットPCを学校教育の場で一律小学生に配布する必然性はない。基礎的な学習を省略する恐れもある。IT産業への市場提供か。

吉村昭先生の文学館は生誕地の日暮里が相応しい。荒川二丁目複合施設は、区内の英語教育は不要で、日本語教育こそ必要。小1からタブレットPC導入は時期尚早だ。荒川二丁目複合施設は図書館のみとし、吉村昭文学館他は事業を中止せよ。国民健康保険料未払い約20億円の常態化は異常だ。外国人学校保護者補助金は、北朝鮮の核実験を踏まえ朝鮮学校分は中止せよ。

# 賛成

各分野において着実な施策展開を図り、多くのニーズを吸い上げた予算案を評価

日本創新党

各分野において着実な施策展開を図り、多くのニーズを吸い上げた予算案を評価する。予算執行では、日本創新党が問題提起した課題を正面から受け止めるよう強く

求め、以下の点を述べる。福祉分野は、健康増進に反することは、強い規制や負担が行われるべきで、生活保護受給には必要な規制を厳しく行うよう求め

# 反対

小1からの不要な英語教育や吉村昭文学館など不要不急の箱物に反対。母子避難所を作れ。

正論の会

一般会計予算に反対する。不燃化特区推進のため、町屋駅を中心とした街づくりのグラウンドデザインを作り、住民の合意形成を図れ。母子避難所設置を再三求

めているが、進んでいない。エレベーター閉じ込め対策も未定で、震災対策は後手に回っている。成田空港からの交通至便性を活用し、東南アジアの起業家を誘致

# 反対

「全国先進」と称する目玉事業に反対。区民のフトコロは厳しい。地域経済改善に予算投入を

元氣クラブ

隅田川の水を使う防災対策は委員会に何の報告もなく、唐突に予算発表された。区が単独で費用負担すべき事業か検討もなく反対だ。タブレットPCを学校教育の場で一律小学生に配布する必然性はない。基礎的な学習を省略する恐れもある。IT産業への市場提供か。

吉村昭先生の文学館は生誕地の日暮里が相応しい。荒川二丁目複合施設は、区内の英語教育は不要で、日本語教育こそ必要。小1からタブレットPC導入は時期尚早だ。荒川二丁目複合施設は図書館のみとし、吉村昭文学館他は事業を中止せよ。国民健康保険料未払い約20億円の常態化は異常だ。外国人学校保護者補助金は、北朝鮮の核実験を踏まえ朝鮮学校分は中止せよ。

平成25年度予算は概ね妥当に編成されている。しかし、事業執行に当たり区民目線から外れている部分がある。大震災時に同時多発の火災に対応するの

に消防ポンプ車や消防団のB級ポンプだけでは足りない。永久水利事業は既に消防ポンプ車が隅田川区でやるべき事業ではない。むしろ防災区民組織とD級ポンプが機

# 賛成

永久水利事業は区がやるべき事業ではなく、防災区民組織とD級ポンプが機能する取り組みを求める

改革の会

平成25年度予算は概ね妥当に編成されている。しかし、事業執行に当たり区民目線から外れている部分がある。大震災時に同時多発の火災に対応するの

に消防ポンプ車や消防団のB級ポンプだけでは足りない。永久水利事業は既に消防ポンプ車が隅田川区でやるべき事業ではない。むしろ防災区民組織とD級ポンプが機